

土曜子ども教室 [12月のポイント!]

国宝 初音の調度



初音の調度とは…国宝に指定された日本一のお嫁入り道具

千代姫が尾張徳川家2代藩主・光友のところに嫁入りした時に持ってきた道具です。

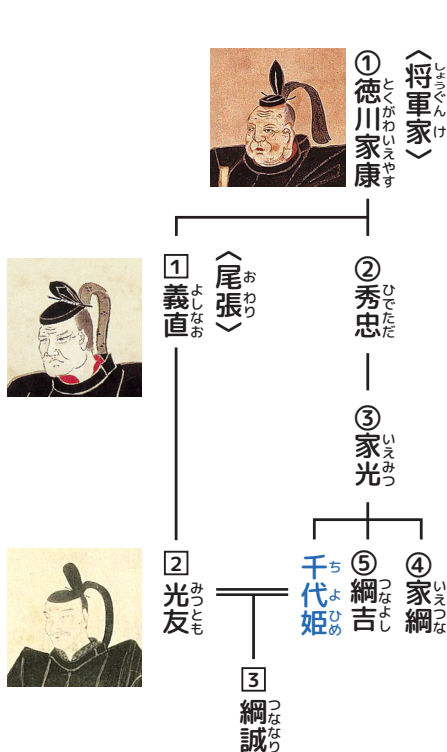
『源氏物語』に「初音」というお話があり、その中の母が娘を想って贈った和歌がデザインのモチーフとなっています。

金や銀を贅沢に使い、高度な蒔絵技術を尽くしてつくられました。

ところどころに「葦手」という技法で和歌の文字が岩や木に隠れるように表されています。一日中見ても飽きないところから「日暮しの調度」とも呼ばれています。



千代姫とは…将軍家に生まれ、わずか2歳半でお嫁入りした姫君



徳川3代将軍・家光の長女として生まれた千代姫は、数え年3歳(2歳半)で、光友(当時15歳)に嫁いだ姫君です。家光は「天下にも替え難い大切なお姫さまだけれど、尾張さまの特別の願いならば…」といってお嫁にだしました。また、千代姫が生まれたその年にお嫁入り道具を作るよう命じ、2年余りをかけて、婚礼調度が用意されました。

千代姫は江戸城西ノ丸から、尾張徳川家の江戸屋敷にお嫁入りしましたが、その距離は数百メートルしか離れていませんでした。嫁いだ後も将軍家の一員として大切にされ、ふたりの男の子、ふたりの女の子に恵まれ、そのひとり綱誠は3代藩主となりました。62歳で亡くなりましたが、生涯、名古屋に来ることなく、名古屋城を見ることはありませんでした。

あしで
葦手とは

いわ きなどのいちぶもじをく
こんだぎほうを「あしで」といいます。

わ か
和歌

げん じ もの 旅り はつ ね じょう ば めん
『源氏物語』 初音の帖の場面

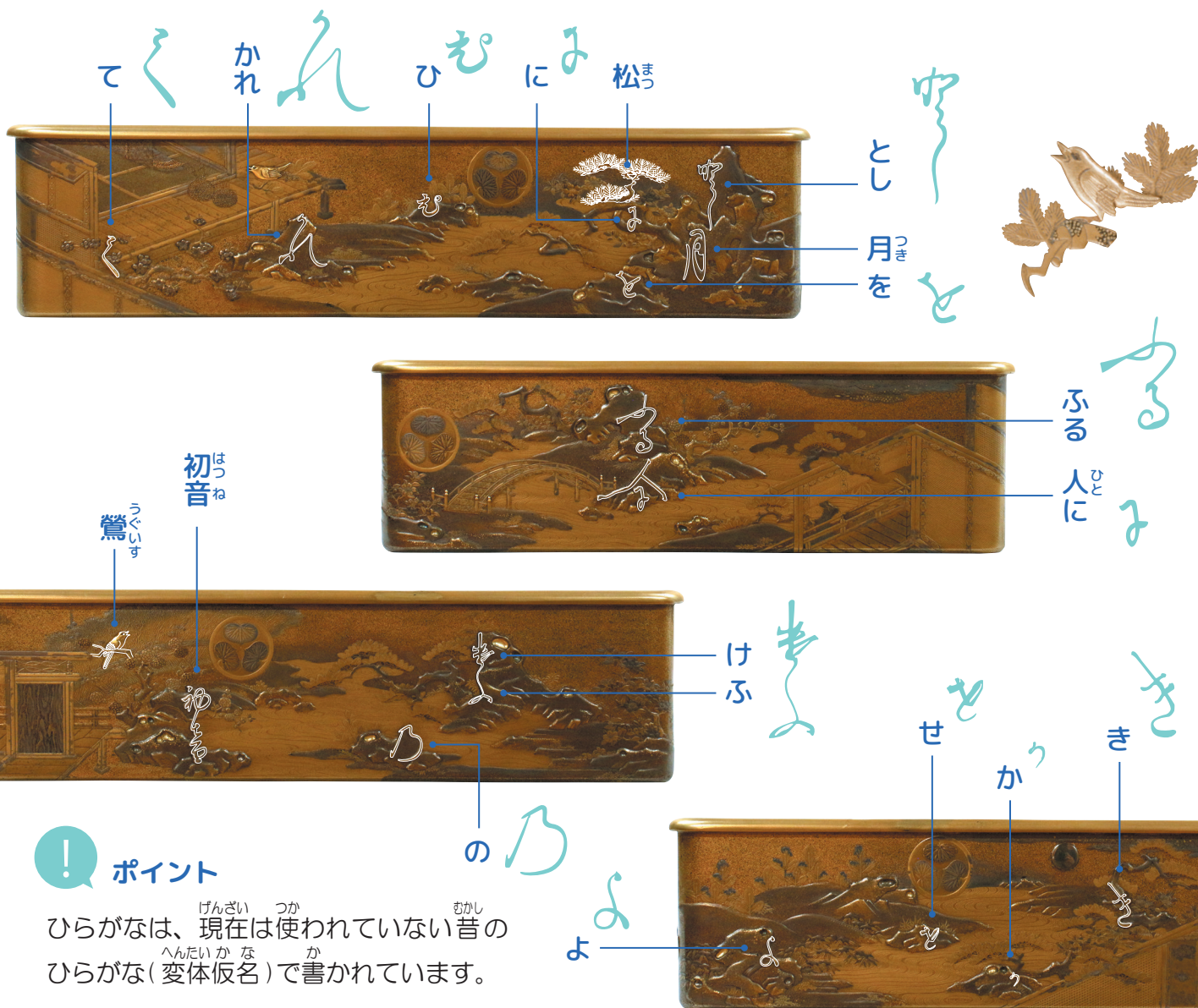
はは あかし きみ なんねん あ むすめ あかし ひめぎみ しん ねん おく うた
母・明石の君が、何年も会えていない娘・明石の姫君へ新年に贈った歌

『とし月を松にひかれてふる人にけふうぐいすの初音きかせよ』

げんだい こ やく
現代語訳

なが としつき ま つつ す かし しんねん きょう はつ たよ
長い年月あなたを待ち続けて過ごしてきた私に、新年の今日、初の便りをください。

▶ しんねん こえ き はは せつ き も つた
新年にせめて声だけでも聞かせてほしいという母の切ない気持ちが伝わります。



! ポイント

ひらがなは、現在(げんざい)は使(つか)われていない昔(むかし)の
ひらがな(変体仮名)で書かれています。



徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017 TEL052-935-6262
<https://www.tokugawa-art-museum.jp/>